

松本雄雄教授のご退任を迎えて

松本雄雄先生が本年3月末日をもって定年退職されることになりました。ちょうど18年間にわたる本学でのご活躍、本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

松本先生は、1951年、北海道大学大学院理学研究科博士課程を修了され、同年6月に理学博士の学位を取得されました。以後、武田薬品（株）中央研究所をはじめ、アメリカ・ニュージャージー州立ラトガース大学微生物研究所、自治医科大学医学部・大学院医科学研究科に奉職されました。そして、1984年に神戸親和女子大学（当時は親和女子大学）に移られて以来、生物学、遺伝学を初め、人間科学科開設以降は人間生物学、医学的人間論、医学一般など、人間科学の基盤的中枢となる人間学領域の科目をご担当いただきました。

松本先生の多方面からのあくなき人間の探求は、本学の「研究論叢」をはじめ、数々の専門ジャーナルに掲載され、先生のご著書「動物変身の意味 ―輪廻転生と遺伝子―」に結実され、私たちに伝え続けて下さっております。

いま先生に去られることは大変残念なことでありますが、私どもは先生のご研究と教育を受け継いで、4月から心理臨床学科と福祉臨床学科として新たな歩みを進めて参りたいと存じます。

先生のこれからのますますのご健勝とご活躍を祈念いたします。

2003年3月

人間科学科教授 菊池 信子